

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達サポートガリレオキッズ	公表日 2026年 2月 28日
-------------	-----------------	------------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		十分なスペースを確保し、運用してる	個別の部屋などを設けていくことを検討する
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		指定基準を満たしており、加配の職員も配置している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		階段があったり、段差があったりしますが、それぞれのご利用者様に合わせた合理的な配慮を工夫している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日頃から衛生管理を徹底し、清潔で心地よく過ごせる環境を整えている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の部屋はないが、職員室を使用したり、環境が気にならないよう区切る空間を設けている	個室を検討したい
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に業務改善ミーティングを実施している	職員全員のスキルアップを図る
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			保護者からの事業所評価をもとに不十分な内容を職員一同周知し、改善目標を検討し実施できるよう計画する。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に業務改善ミーティングを実施しています。	職員全員のスキルアップを図る。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			第三者による外部評価を取り入れたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		児童発達に関する様々な研修に全職員が積極的に参加している。 来年度は、鹿児島大学教育学部の講義を職員全員受講します。支援に必要なスキルを学びます。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページで公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に指導員を含む全職員でアセスメントを行い、保護者と定期的に個人面談を実施し支援計画を作成している	保育園・幼稚園との情報共有を密にしたい
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		担当者会議、保護者との情報共有後は、職員へ周知することをしている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		全職員が子どもたちの特性を理解し、それを基に計画された支援を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		当社指定のアセスメントシートを使用し確認している	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		児童発達支援ガイドラインに基づき、支援内容を設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		専門家や職員が発案したプログラムを用い適切な療育方法を検討し活動プログラムを作成している	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		多様なプログラムを用意し、必要時以外は月の中で同じ活動が無いように実施している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どもの状況に応じ個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		業務開始前にミーティングを行い、その日の活動について役割等の確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		業務終了時にミーティングを行い、その日の支援内容を記録として残して、職員間で共有しています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援記録の内容を定期的にミーティングで共有し検証したうえで改善につなげています。また、記録の方法についての指針とマニュアルを整備しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリングを定期的に行い、職員ミーティングで支援内容の見直しの必要性を常時検討しています	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		利用者様に精通した職員がサービス担当者会議等に出席いたしております	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		医療施設を併設しています。医療的なことについては全て報告相談している。また近隣の歯科診療所や子ども療育センター、保育園、幼稚園との連携を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		積極的に情報の共有を図っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学前相談に積極的に参加し、小学校との情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		必要に応じて適宜行っている	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			様々な感染症が蔓延している状況下のため控えている
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		子ども部会には参加を行っている	地域の会議の開催状況を把握したい。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			児童発達支援センターとの連携を行いたい。現在どのような状況か確認したい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		保護者に計画内容を説明し確認をいただき、署名にて同意を得ている	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			定期的ではないが、活動状況を報告した際に相談を受ける場面があり、可能な範囲で助言や支援を行っている。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			ペアレント・トレーニングを行うことができる職員がいなかった。子ども気付きについて家族支援をしたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		児童発達支援管理責任者が契約時に十分時間をとり、丁寧な説明を行うことを心がけている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談時に支援計画について丁寧な聞き取りや、再確認を行っている	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		面談時に支援計画について丁寧な説明を心がけ、保護者様に理解していただいたうえで同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者からの質問や相談を受けやすいようLINEを使用している。できる限り相談と助言を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		年に一度、父母会をおこなっている	父母会の開催回数を増やしたい
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談、申し入れがあった場合には、迅速かつ誠実に対応・解決するよう努めている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		LINEやメールを活用している。支援の様子を毎回伝えている。また動画や画像を送信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員に個人情報の取り扱いについての研修及び指導を行っている	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カードやスケジュール表などを使用し視覚支援を行うなど、特性に応じた配慮をしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域の文化交流には参加しているが、地域の方々を招くなどする運営は行っていない。	地域の方との運営については、個人情報などにも配慮の必要性などを考慮しながら慎重に検討したい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定し、定期的に知識、技術の向上を目的とした職員研修を実施しております。また、訓練も実施しています	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画は策定している。避難訓練なども定期的に行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時にこどもの状況について確認している。特に注意が必要な疾患については、医師と情報共有し、職員に疾患について周知徹底している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供はない	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		研修や訓練について、研修を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		ケガ等があった際は、状況を説明し連絡することを徹底している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットについては情報を収集し、常時職員が閲覧できるようにしている	再発防止の会議などを全員で行いたい
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		待防止について他市の研修会に参加し職員に情報共有している	身体拘束について該当者はいないが、身体拘束については職員間での周知、研修を行っている
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				